

次世代に残すべき園芸文化遺産 ナショナルコレクション

認定



2022年3月14日、箱根・芦ノ湖畔、「小田急 山のホテル」庭園のツツジが、
「日本植物園協会ナショナルコレクション」に認定されました。

江戸時代に作出された他所ではほとんど見られない30の古品種を含む84種類のツツジは、
周囲の景観とともに次世代に残すべき価値あるコレクションとして、認められました。



〈ナショナルコレクション認定制度〉

「ナショナルコレクション」は、秋篠宮皇嗣殿下が総裁をお務めになる、公益社団法人日本植物園協会が制定した認定制度。2017年に創設された「野生種、栽培種に関わらず、日本で栽培されている文化財、遺伝資源として貴重な植物を守り後世に伝えていく」ことを目的とした植物コレクションの認定、保全制度です。



■ 山のホテル庭園のツツジ

「小田急 山のホテル」は、三菱財閥4代目総帥である岩崎小彌太男爵が、1911年（明治44年）に別邸を建てた由緒ある地にあります。男爵は別邸にツツジ庭園を造り、1948年（昭和23年）この地に「小田急 山のホテル」がオープンした後も、ホテルの庭園として、現在まで受け継がれてきています。別邸当時に、版画家川瀬巴水によって描かれたツツジ庭園は現在と同じ景色です。



川瀬巴水の版画

■ ツツジを守る活動

ホテルでは由緒ある庭園の維持・再生を目的に、庭園プロジェクト「男爵の100年ツツジ 100年先への挑戦」を2015年より開始しました。2016年から、6年にわたり開花時にツツジ・シャクナゲの研究者 倉重祐二氏による品種調査を行いデータ化に取り組みました。また、貴重な品種を挿し木による増殖をし、現在植栽されている樹木のために土壌改良なども行い、専任スタッフが、100年後を視野に入れた管理を行っています。



小田急 山のホテル

〒250-0522 神奈川県足柄下郡箱根町元箱根 80



山のホテル
公式ホームページ



フェイスブック、インスタグラムもやってます！